

平成 30 年第 7 回辰野町議会臨時会会議録

1. 招集告示年月日 平成 30 年 10 月 15 日
2. 開会場所 辰野町議事堂
3. 開会年月日 平成 30 年 10 月 17 日 午前 10 時 00 分
4. 議員総数 14 名
5. 出席議員数 14 名
  - 1 番 小 澤 睦 美
  - 2 番 向 山 光
  - 3 番 熊 谷 久 司
  - 4 番 山 寺 はる美
  - 5 番 篠 平 良 平
  - 6 番 中 谷 道 文
  - 7 番 宇 治 徳 庚
  - 8 番 成 瀬 恵津子
  - 9 番 瀬 戸 純
  - 10 番 宮 下 敏 夫
  - 11 番 根 橋 俊 夫
  - 12 番 垣 内 彰
  - 13 番 堀 内 武 男
  - 14 番 岩 田 清
6. 会議事項
  - 日程第 1 会議録署名議員の指名
  - 日程第 2 会期の決定
  - 日程第 3 議案第 1 号 平成 30 年度辰野町一般会計補正予算 (第 6 号)

7. 地方自治法第 121 条により出席した者

町長	武 居 保 男	教育長	宮 澤 和 徳
総務課長	小 野 耕 一	まちづくり政策課長	赤 羽 裕 治
住民税務課長	伊 藤 公 一	保健福祉課長	小 澤 靖 一
産業振興課長	一ノ瀬 敏 樹	会計管理者	武 井 庄 治
こども課長	加 藤 恒 男	生涯学習課長	原 照 代
辰野病院事務長	今 福 孝 枝		

8. 地方自治法第 123 条第 1 項の規定による書記

議会事務局長	中 畑 充 夫
議会事務局庶務係長	田 中 香 織

9. 地方自治法第 123 条第 2 項の規定による署名議員

議席 第 12 番	垣 内 彰
議席 第 13 番	堀 内 武 男

## 10. 会議の顛末

○局 長

ご起立願います。(一同起立) 礼。(一同礼)

○議 長

定足数に達しておりますので、これより平成30年第7回辰野町議会臨時議会を開会いたします。欠席の届けが出ております。山田副町長と西原建設水道課長より公務による出張のため欠席届が提出されておりますので、報告いたします。直ちに本日の会議を開きます。本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりであります。第7回臨時会召集にあたり、町長より挨拶を受けます。

○町 長

皆さん、おはようございます。本日ここに第7回辰野町議会臨時会を招集申し上げましたところ、議員各位には時節柄大変お忙しいところ、ご出席を賜りまして感謝申し上げます。今月は台風24、25号が週末に日本列島を通過しましたが、町内では大きな被害はなく、安堵したところであります。また、今年の猛暑で心配されたふるさと納税返礼品のマツタケの状況でございますが、10月15日現在で一昨年(2018年)の565箱に迫る556箱の返礼数となりまして、辰野町特産品をアピールすることができております。さて、今臨時会にご提案申し上げます議案は、平成30年度一般会計補正予算であります。補正額は1,190万円追加し、予算総額84億5,624万2,000円となります。今回の補正予算は、移住定住促進に係る空き家改修費等補助金と定住促進奨励金、また上伊那クリーンセンター稼働によりごみの分別方法が変更になることから、その周知のために作成するガイドブックの印刷製本費の増額であります。提案時それぞれご説明申し上げますので、原案可決くださいますようお願い申し上げます、第7回臨時会召集にあたっての挨拶といたします。

○議 長

これより日程に基づく会議に入ります。日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、会議規則第122条の規定により、議席12番、垣内彰議員、議席13番、堀内武男議員を指名いたします。日程第2、会期の決定の件を議題といたします。本臨時会の付議事件は、あらかじめ告知のとおりでありますので、会期を本日1日といたしたいと思っておりますけれども、ご異議ありませんか。

(議場 異議なしの声)

○議 長

異議なしと認めます。よって、会期は1日と決定いたしました。日程第3、議案第1号、平成30年度辰野町一般会計補正予算（第6号）を議題といたします。提案者より提案理由の説明を求めます。

○町 長

平成30年度辰野町一般会計補正予算（第6号）を提案するにあたりまして、提案理由を申し上げます。補正総額は1,190万円の増額で、予算総額は84億5,624万2,000円となる補正予算であります。以下、その概要を申し上げますと、歳入につきましては、繰越金の増額であります。歳出につきましては、総務費では、空き家バンク登録物件の改修や、家財道具の処分等に係る費用の一部を補助するための空き家改修費等補助金の増額であります。衛生費では、上伊那クリーンセンター稼働に伴い変更になります、ごみの分別方法等を記載した全戸配布のガイドブック作成のための印刷製本費の増額であります。土木費では、子育て世帯が町内に居住する目的で住宅を建築購入に係る費用の一部を補助するための定住促進奨励金の増額であります。以上のとおり補正予算の概要を申し上げましたが、必要に応じて関係課長より説明いたさせますので、ご審議の上、原案可決くださいますようお願い申し上げます。

○議 長

これより質疑討論を行います。ありませんか。

○堀内（13番）

8ページの関係ですけども、今回クリーンセンターたつのが廃止されて、伊那の方へいくという形で、その徹底のための製本という形の状況で提示されております。で、この内容につきましてはですね、印刷の部数どのくらいを計画しているのか。それとあとその内容はどうなのか。それと出前講座等含めて徹底を図るといふ形の状況になるとは思いますが、そこら辺の計画、どのような方法で行っていくのか、お答え願いたいと思います。

○住民税務課長

ただ今の質問にお答えいたします。ページ数でございますけれども、ごみ出しのバイブルとなるものとなります。品目毎にこう分別方法を詳細にまとめたものでございまして60ページほどになります。まだちょっと編集中でございますけれども、大幅にページ数がごとに加え、またなるべくわかりやすくするために、項目や解説等増や

しております。また、常に手元に置いてバイブルとするため耐久性も考慮して良いものを作成するために増額することになりました。また、ごみの講座につきましてはですね、常会単位で行う予定でございますので、納期がこのそうですね、ガイドブックについては年内となります。それからスタートとなりますので、年が変わって、希望に沿った形で行っていきたいと考えております。よろしく申し上げます。

○堀内（13番）

今、非常に詳細にわたってっていうことで、60ページという、かなりの部数という枚数になって、これ一般の人がそれを見るってことになると、非常に問題があるんじゃないかと思えます。それで、非常に大きく変わるところってあると思えますんで、そこら辺をやっぱりわかりやすくできるような形の別冊になるのかちょっとわかりませんが、そういうものを用意された方が私は良いと思えますが、いかがでしょうか。

○住民税務課長

すみません。先ほど部数についてでございました質問がございまして回答しておりませんでしたのでお答えしたいと思いますけど、1,200から1,300部ぐらいを予定しておりまして、まず全戸配布をし、それから転入者に対する対応。それから5年分ぐらいの余分をみた部数を印刷する。すみません。1万2,000部でございます。すみません。それから変わる部分でございますけれども、一度、一般質問等でお答えしておりますが、資源にならないプラスチック類が燃やせないごみから燃やせるごみとなりますので、その部分は手厚く説明をしていくように考えてございます。よろしく申し上げます。

○議 長

よろしいですか。

○垣内（12番）

併せて8ページの件で、ご質問させていただきますが、当初計画していた告知方法と、今回補正で予算されたその全戸配布の資料というのは、どこか変わったところがあるのでしょうか。

○住民税務課長

当初のものを大幅に構成は変わっておりませんが、上伊那のですね、統一の素案というものができてきたのが、ここでできてきたっていうものになりますので、

それに沿った形になりますけれども、先ほど言ったその燃やせるごみになる部分が大きく変わってる部分になります。

○議 長

ありませんか。

○熊谷 (3 番)

7 ページ及び9 ページ両方についてお伺いいたしますけれども、ここでこういった補正が出すっていうことは、それなりの実績があった、今年の実績があらうかと思えますので、それと今後の見通しの予測についてお聞かせ願います。

○まちづくり政策課長

はい。それでは私の方から7 ページの空き家改修等補助金の実績と見込みにつきまして、答弁をさせていただきたいと思えます。昨年の決算等でもご説明申し上げましたが、昨年のこの事業で補助金でございますと、23 件の決算的には430 万8,000 円ということでございました。それを見込みまして今年度は450 万ということで盛りさせていただきましたけれども、9 月 28 日現在で昨年と同数のもう 23 件の申請と、約金額的には446 万円が交付決定をされている状況でございます。それも既にお二人の方からの、2 件ですね、問い合わせが来ておりますのでその分と、補正部分につきましては、約 10 件分ということで補正をさせていただいております。

○総務課長

それでは私の方から定住促進奨励金についてお答えしたいと思えます。この奨励金の関係ですけれども、28 年の1 月 4 日から施行されております。27 年度になりますので、27 年度は残り3 ヶ月ということで5 件で280 万円の補助がございました。本格的には28 年からこの奨励金事業に入ったわけですけれども、28 年度が44 件で2,185 万円。これがやはり当初予算がですね、1,800 万ということで補正をしております。それで29 年度がですね、43 件で2,095 万円。これもやはり予算1,800 万ですので、補正をして対応してるところでございます。それで今年度ですけれども、9 月 30 日現在で34 件の申請がございまして、申請ベースで1,710 万円の金額になります。このほかですね、やはり電話等で5、6 件ですね、問い合わせもございまして、29 年度、28 年度の申請ベースになりますとあと 10 件ぐらいは申請があるんじゃないかということで、ここで600 万円を補正しですね、総額で2,400 万円の予算になるという状況でございます。以上です。

○議 長

よろしいですか。そのほかありませんか。

(議場 なし)

○議 長

質疑討論を終結いたします。これより議案第1号、平成30年度辰野町一般会計補正予算(第6号)を採決いたします。お諮りいたします。本案は原案のとおり決するにご異議ありませんか。

(議場 異議なしの声)

○議 長

異議なしと認めます。よって議案第1号は、原案のとおり可決されました。以上で本臨時会に付議された事件は、全部終了いたしました。よって、平成30年第7回10月辰野町議会臨時会を閉会といたします。大変ご苦勞様でした。

11. 閉会の時期

10月17日 午前 10時 14分 閉会

この議事録は、議会事務局長 中畑充夫、庶務係長 田中香織の記録したものであって内容が正確であることを認め、ここに署名する。

平成 年 月 日

辰野町議会議長

署名議員 12 番

署名議員 13 番